

## 平成29年度 居宅介護支援事業ふるさと 事業計画

### 【基本方針】

ふるさとらしいサービスの提供とは常にサービスを提供される側の立場や気持ちを考えたサービスを提供することである

### 【年間目標】

- ①言葉遣い・接遇マナーの徹底と職員の資質の向上
- ②自立支援の理念においたケアマネジメントの実施
- ③地域における事業所として信頼関係を構築する
- ④情報管理の徹底
- ⑤神戸市および他市町村からの認定調査を受託する

### 【実践計画】

- ①言葉遣い・接遇マナーの徹底と職員の資質の向上
  - ・利用者の人格を尊重しながら、丁寧な言葉遣い、笑顔に徹する
  - ・サービスを提供する相手に対し、常に敬う心をもって接する
  - ・社会人としてのマナーの徹底、社会的ルール、職場内ルールの順守
  - ・自己評価を行い、常に客観的な視点を持ち自らの行動を見直す
  - ・定期的に会議を開催し、現状のケアマネジメントにおける困難事例の検討、業務上の改善点やケースについての意見交換を行う
  - ・利用者の支援の方向性等、職員間で話し合える相談しやすい環境を整える
  - ・各種方面からの支援方法についてのアドバイスは素直に取り入れる
  - ・様々な支援方法の提供ができるよう常に自己研鑽を行う
- ②自立支援の理念においたケアマネジメントの実施
  - ・居宅介護支援に関する法令を遵守し、基準に則した運営を行う
  - ・利用者及びその家族に対し、適切なアセスメントを実施し、ニーズを把握する
  - ・アセスメントにより見えてきたニーズを基にケアプランを作成し、担当者会議・モニタリング・評価・再アセスメント等の一連の支援経過において、その都度利用者や家族に確認し、必要に応じてスムーズに変更していく
  - ・利用者が個々の能力に応じ、住み慣れた地域で自立した在宅生活を営むことができるように自立支援と重度化予防の視点を持ったケアプランを作成する
  - ・地域の社会資源の情報収集に努め、ケアプランにインフォーマルサービスを位置付けていく
  - ・主治医と連携し、プラン作成時のアドバイスを得る
  - ・入院退院時は医療関係者と必要な連携を行い、情報提供・情報収集すると共に、利用者が安心して在宅生活に戻れるよう支援する

### ③地域の事業所として信頼関係を構築する

- ・ケースを通じて地域の課題やニーズを発掘し、地域包括支援センターと共に、地域づくりを行う一員として努める
- ・地域住民に選ばれる事業所となれるように、積極的に地域に出向き、新規の利用者の獲得を行っていく
- ・特定事業所加算算定ができる体制を整えることを視野に入れ、安定した事業所運営を行う

### ④情報管理の徹底

- ・個人情報の使用については目的の範囲内で最小限にとどめ、情報提供の際には関係者以外には漏れることのないよう細心の注意を払う

### ⑤神戸市および他市町村からの認定調査を受託する

- ・専任の認定調査員を1名は配置し、研修を受けた認定調査員が調査を行う
- ・厚生労働省令で定める事項について、エリア内の認定調査を受託する
- ・調査訪問時には生活状況・身体状況を聞き取り、調査基準にもとづき公平公正で客観的かつ正確に行い、調査票は必要な情報を分かりやすく丁寧に記入する
- ・管理者は認定調査提出が遅滞しないように、進捗状況を把握し審査判定に支障が生じないように努める

### 【職員研修計画】

介護支援専門員等の質的向上を図るため、以下のとおり研修の機会を設ける

- ・更新時研修及び職員のレベルに応じた研修の実施
- ・施設内研修への参加
- ・更新研修への参加
- ・行政からの通知による必要研修への参加

### 【他部署との連携】

- ・絆福祉会の一員としての自覚を持ち他部署との連携に努める
- ・当施設が更に地域の皆様に選ばれる事業所となる様に、地域で生活する利用者の声を法人内の各種事業体に届ける

### 【経費節減対策】

- ・利用者・事業所交付など以外の居宅内での印刷物は裏紙などを活用する
- ・付箋や事務物品の使用は必要最小限の利用とする
- ・利用者・他事業所などへの電話連絡
- ・連携時も常に節減を気にかけて必要以外に長話しない様心がけ、訪問時に対面にて利用者状況の確認を行う様に配慮する